

J R 肥薩線復興アクションプラン 第2期中期計画

J R 肥薩線復興アクションプラン推進会議
日常利用施策・基盤整備推進部会

19 長期間にわたる「繋がり」を生み出す仕組みづくり

◆2033年度（復旧時点）で目指す姿

- 「肥薩線サポーターズクラブ」（入会費・年会費無料）の会員基盤を拡大し、復旧に向けた地域の機運醸成を図る
- 無償のサポーターズクラブ活動に加えて、個人や関係地域の法人が「投資や寄附で肥薩線の復旧を応援できる仕組み」を導入し、参加者には特典を付与することで応援を長期間にわたる「繋がり」や実際の利用に発展させる
- 地域外の居住者も「肥薩線サポーターズクラブ」や「投資や寄附で肥薩線の復旧を応援できる仕組み」に参加可能とすることで、関係人口の創出や肥薩線の観光利用増加に繋げる



◆2029年度（中期計画終了年度）で目指す姿

- 肥薩線サポーターズクラブ、クラウドファンディング等の内容拡大について、課題が整理できている
- ふるさと納税で肥薩線を応援できる仕組みについて、検討が進んでいる



◆各年度の実施事項

実施項目	実施主体	2027年度	2028年度	2029年度
肥薩線サポーターズクラブ、クラウドファンディング等の内容拡大	☆県、市町村	・ 各仕組みの詳細化	・ 内容拡大の検討	・ （準備が整い次第）順次実施
ふるさと納税返礼品の内容拡大	☆県、市町村	・ 返礼品の内容の検討	・ 返礼品の内容の検討	・ （準備が整い次第）順次実施
肥薩線サポーターズクラブの運営	☆県	・ 管理運営		

◆2033年度（復旧時点）で目指す姿

- 坂本駅は、駅周辺で整備が進む行政・商業・医療施設、災害公営住宅等の生活・交流施設へ、駅から徒歩で移動できる環境を整え、駅と一体となったまちづくりが進んでいる
- 渡駅は、球磨村復興計画や利用ニーズに沿って、駅再整備を検討する。その他の駅も、復旧工事にあたり最適な駅立地の検討がなされている
- このほか、人吉駅等の一部駅の駅舎内や駅近くで、学習スペースや保育施設等の生活拠点や、カフェ等の交流拠点の整備がなされている



◆2029年度（中期計画終了年度）で目指す姿

- 坂本駅・渡駅の整備内容について具体化されている
- 人吉駅等の一部駅舎の利活用に向けた検討が進んでいる



◆各年度の実施事項

実施項目	実施主体	2027年度	2028年度	2029年度
各市町村における駅周辺整備	各市町村	・ 各市町村における駅周辺整備		
坂本駅・渡駅の整備内容の具体化	☆市町村、県、JR	・ 整備内容の具体化	・ 整備内容の具体化 ・ 設計に着手	
人吉駅舎等の利活用策の検討	☆県、市町村、JR	・ 駅舎の利活用に向けた課題整理		

◆2033年度（復旧時点）で目指す姿

- 肥薩線とくま川鉄道が直通運転化することで、肥薩線沿線からくま川鉄道沿線や、くま川鉄道沿線から八代方面への通勤・通学、外出、業務等利用の利便性が向上している
- 肥薩線を新八代駅まで直通運転化することで、肥薩線の新幹線アクセス線としての機能を拡張し、鉄道利用による人吉・球磨地域から熊本・博多・鹿児島・関西方面の利用が増加している
- 遠方から人吉・球磨地域へのアクセス性を向上させることで、入込客数が増加している
- 朝・夕時間帯で増発し、球磨村エリアや人吉市西部在住の住民を中心に肥薩線での通勤・通学利便性が向上している
- テスト期間に臨時ダイヤ設定を行うなど、柔軟な鉄道移動が提供されている

被災前時点のダイヤ

下り (人吉方面)				上り (八代方面)						
5時	6時	7時	～	12時	13時	～	17時	18時	19時	20時
●	●			●				●	●	



復旧後のダイヤ（例）

（○：臨時便）

下り (人吉方面)				上り (八代方面)						
5時	6時	7時	～	12時	13時	～	17時	18時	19時	20時
●	●	●		●	○		●	●	●	●

◆2029年度（中期計画終了年度）で目指す姿

- 直通運転化・増発に向けた課題整理ができている

◆各年度の実施事項

実施項目	実施主体	2027年度	2028年度	2029年度
課題の整理	☆県、JR、くま川鉄道	・ 直通運転化・増発に向けた課題の抽出・整理		